

永田南2丁目 危険な崖対策工事が進んでいます

土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)に指定され、土砂崩れの被害も出ていた永田南2丁目の崖は、2021年から神奈川県急傾斜地崩壊対策事業による工事が進んでいます。

南区には今年3月時点で、160カ所の災害警戒区域・災害警戒特別区域があります。

今回の工事で崖崩れの危険はなくなりましたが、緑の森がなくなって野鳥が来なくなった。崖の上でも下でも風の流れが変わった等の変化があります。ここは“法枠工”を用いたので、緑は復活します。すでに1期工事範囲には草が伸びています。数年後には、どんな景色になっているのでしょうか。



工事着工前には、地域住民との色々な調整も必要でした。地域の世話役の方々の協力が欠かせません。最近では町内会に加入しない人が増えたり、役員を引き受ける人が少ない等の問題がありますが、**災害時に力を発揮するのは地域のつながりです。**地域活動にも一歩踏み出しませんか。

費用はどれくらい？

- ・1期工事
2021~22年度 約1億6千万円
- ・2期工事
2023年度 約9千万円
- ・3期工事
2024年度 これから入札
国の補助金が50%、県負担が50%



日本共産党神奈川県議団は

今年度予算で急傾斜地崩壊対策事業費を55.7億円と、前年度よりも増額したことは評価していますが、防災対策は喫緊の課題であるため、さらなる予算の増額を求めています。



南永田団地行バス終点から徒歩5分

あいらのほやき

弘明寺駅前宣伝の時に、

ねじりドーナツやおこわなどの惣菜を入れた袋をバイクのかごに入れ、上からカバーも掛けて駅の3階バイク置場に1時間停めていました。

宣伝が終わってバイク置場に行ったら、私のバイク周辺にゴミが散乱していて、よく見ると私が買った物です。カバーの上からカラスがつついて取り出したようです。ドーナツは袋ごともって行ったのか陰も形もない。楽しみにしていたおやつがなくなりがっかり。カラスの頭



南区市政懇談会の報告

4月6日大岡地区センターで、共産党横浜市議団の出張市政報告会が開かれました。当日会場はほぼ満席。参加者からは、色々な質問が寄せられました。



図書取次サービスを増やして

図書館が各区に1館しかないのは少ない。商店街の空き店舗などを活用して、取次ぎサービスを増やすようしてください。

回答：図書館が区に1館では足りないので、増設出来るように取組んでいきます。



図書取次ぎサービス：予約した横浜市立図書館の図書受け取りと返却ができます。サービス実施場所は、青葉区には7カ所ありますが、青葉区以外の区全体で4カ所しかなく、南区にはありません。

11系統のバスは減便対象ですか

平楽地区は山の上で高齢者が多く、買い物にも困る地域です。バスの減便が問題になっていますが、11系統路線はどうなるのか教えてください。

回答：減便対象にはなっていませんが、乗車人数が減るとどうなるかわからないので、利用する人を増やしてください。



災害対策は公助をメインに

災害時は自助・共助・公助と言われていますが、災害発生前の公助が一番大切です。台湾では地震発生4時間後に、体育館内にテントを設置したプライバシーが守れる避難所が完備されました。事前の“公助”の構築に市も努力してください。

回答：その通りです。予算を増やせるように頑張ります！



野生鳥獣対策予算を増やして

アライグマやハクビシン等の被害が増えている。市では捕獲檻の貸し出しをしているが、数が足りないし、檻の餌代が自己負担で大変。

回答：深刻な問題として取組んでいきます。

問合せ先：環境創造局 動物園課 045-671-3448



日本共産党横浜市議団は

子育て応援など“山中カラー”が出た予算案に賛成しました。しかしそれぞれの内容については、現場の実態にあったものに改善・拡充していく必要性があると考えています。特に2027国際園芸博覧会やデリバリー方式の中学校給食の現計画は、抜本的な見直しを求めています。